

1. 当該診療科の特徴	<p>消化器一般外科を中心に、呼吸器、乳腺、末梢血管、化学療法などの診療を行っています。救命救急センターと連携し、救急外科疾患に対応しています。癌疾患に対しては、学会が提唱するガイドラインに則した方針で必要かつ十分な治療を行っています。また鏡視下手術を積極的に導入し、患者さんのQOLを考慮した低侵襲手術に対する取り組みを盛んに行っています。</p>																																	
2. プログラムの特徴	<p>本プログラムは、2年間の初期研修を修了した者が、外科の専門的研修を行う2年間のプログラムです。後期研修終了後に、日本外科学会専門医を取得する事を目標とします。すなわち、医の倫理を体得し、医療を適正に実践すべく一定の修練を経て、診断、手術および術前後の管理・処置・ケアなど、一般外科医療に関する標準的な知識と技量を修得した医師になることを目指します。</p>																																	
3. 到達目標	<p>日本外科学会専門医カリキュラムの一般目標に準じます。すなわち、</p> <p>1) 総論的 国民のニーズにこたえるべく、レベルの高い均質な、包括的で全人的な外科診療を実践できる。専門医を養成するため、以下の4項目を到達目標として、段階的に進む研修を実施する。 (1) 外科専門医として、適切な外科の臨床的判断能力と問題解決能力を修得する。 (2) 手術を適切に実施できる能力を修得する。 (3) 医の倫理に配慮し、外科診療を行う上での適切な態度と習慣を身に付ける。 (4) 外科学の進歩に合わせた生涯学習を行うための方略の基本を修得する。</p> <p>2) 各論的 卒後初期臨床研修を修了した後、外科学総論、基本的手術手技および一般外科診療に必要な外科診療技術を修得する。また、外科サブスペシャリティの特徴も修得させる。 (1) 外科総合カリキュラムとして学習する。 (2) 外科サブスペシャリティに共通する外科の基本的問題解決に必要な基礎的知識、技能および態度を修得する。</p> <p>注1 基礎的知識とは外科に必要な局所解剖、病理・腫瘍学、病態生理、輸液・輸血、血液凝固と線溶現象、栄養・代謝学、感染症、免疫学、創傷治癒、術後疼痛管理を含む周術期管理、麻酔科学、集中治療、救命・救急医療(外傷・熱傷)などすべてを包括する。 (3) 座学としてではなく、実地臨床症例を教師とし、体験から自己学習を促進する。</p>																																	
4. 研修期間	3年間																																	
5. 取得が可能な資格等	<b>学会名</b>	<b>取得可能資格</b>																																
	日本外科学会	日本外科学会専門医																																
6. 指導体制	<p>カリキュラムの概要:</p> <table border="1" data-bbox="424 1346 1458 1563"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">7:30</th> <th style="text-align: center;">午前</th> <th style="text-align: center;">午後</th> <th style="text-align: center;">17:00</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月曜日</td> <td>手術記録チェック及び病棟回診</td> <td>手術</td> <td>手術</td> <td>術前検討会及び退院報告</td> </tr> <tr> <td>火曜日</td> <td>ミニカンファレンス及び病棟回診</td> <td>病棟管理</td> <td>病棟管理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水曜日</td> <td>消化器カンファレンス</td> <td>局麻または脊麻手術</td> <td>栄養管理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木曜日</td> <td>ミニカンファレンス及び回診</td> <td>手術</td> <td>手術</td> <td>術前検討会及び退院報告</td> </tr> <tr> <td>金曜日</td> <td>ミニカンファレンス及び回診</td> <td>手術</td> <td>手術</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 経験すべき手術手技  ① 消化管および腹部内臓                      ⑤ 末梢血管  ② 乳腺    ⑥ 頭頸部・体表・内分泌外科  ③ 呼吸器    ⑦ 小児外科  ④ 心臓・大血管                                  ⑧ 外傷</p> <p>2) 教育体制  ① 指導医: 初めの6ヶ月間は日本外科学会指導医のもとにマンツーマンで指導を受ける。次の6ヶ月間はそれ以外の上級医のものでマンツーマンで指導を受ける。  ② 救急疾患およびトリアージ: 週1回の1stコールを担当し、救急患者、他科からの診療依頼に対応し、上級医とともに診療にあたる。  ③ 学会、執筆活動: 年2回以上の学会発表を経験し、年1編以上の学術論文を執筆する(部長による指導)。</p>					7:30	午前	午後	17:00	月曜日	手術記録チェック及び病棟回診	手術	手術	術前検討会及び退院報告	火曜日	ミニカンファレンス及び病棟回診	病棟管理	病棟管理		水曜日	消化器カンファレンス	局麻または脊麻手術	栄養管理		木曜日	ミニカンファレンス及び回診	手術	手術	術前検討会及び退院報告	金曜日	ミニカンファレンス及び回診	手術	手術	
	7:30	午前	午後	17:00																														
月曜日	手術記録チェック及び病棟回診	手術	手術	術前検討会及び退院報告																														
火曜日	ミニカンファレンス及び病棟回診	病棟管理	病棟管理																															
水曜日	消化器カンファレンス	局麻または脊麻手術	栄養管理																															
木曜日	ミニカンファレンス及び回診	手術	手術	術前検討会及び退院報告																														
金曜日	ミニカンファレンス及び回診	手術	手術																															
7. その他	<p>外科 谷口 弘毅 部長のホームページのURL:  <a href="http://www.eonet.ne.jp/~htan/pos_grad.htm">http://www.eonet.ne.jp/~htan/pos_grad.htm</a></p>																																	